

## 研究会を開催する場合の新型コロナウイルス感染症対策について ～「3密」防止対策等～

新型コロナウイルス感染拡大に伴う研究会等の開催については、「3密」（密閉、密集、密接）を避けるため、下記の対策を行い実施いたします。

### 記

#### 会場・設備・環境

- 1 会場への入場（研究会等参加者）を制限します。
  - 参加する人数を会場定員の1/2以下を目安としています。  
定員60名 → 25名（講師含む）
- 2 会場の消毒・清掃を徹底します。
  - 机やドアノブなどを消毒します。（ドアノブは休憩前にも消毒します。）
- 3 換気を徹底します。
  - 休憩回数を増やし（1時間に1回程度）、休憩時には窓やドアを開放します。
- 4 人との距離を確保します。
  - 密接にならない距離を確保します。
  - 講師と参加者ともにフェイスシールドを着用します。

#### 講師・受付スタッフ

- 1 講師席にアクリルボードを設置することもあります。
- 2 来場時に検温します。（体調チェック票を提出する。）
  - 講師が37.5度以上の発熱がある場合、中止となる場合もあります。
- 3 手指消毒を徹底します。
  - 受付開始前や講義開始前後に手指消毒をします。

#### 参加者

- 1 来場時は必ずマスクを着用し、会場入口で手指消毒をします。
- 2 当日に体調チェック票の提出を求め、体温等の確認をします。
  - 37.5度以上の方や咳など風邪の症状のある方は研修会への参加をお断りします。
- 3 会話はできるだけ控えてもらい、ゴミは各自持ち返るようにします。
- 4 昼食時は、非対面とし、会話は厳禁とします。
- 5 受付時の混雑などを回避するため、早めのご来場をお願いします。

※なお、非常事態宣言発令時や地域でクラスターが発生した際は研修会等を中止する場合があります。